

## 2018 年度交換留学(派遣) 報告書 ②

所属学科／研究科	文化財学科
留学先国	韓国
留学先協定校	韓国伝統文化大学校
留学期間	約 1 年間
留学時学年	2 回生
留学先での所属	融合考古学科
渡航日／発着便	2018 年 2 月 23 日 関空→仁川
帰国日／発着便	2019 年 2 月 28 日 仁川→関空
留学先で取得した単位数合計	31 単位
本学で認定された単位数合計 (※30 単位上限)	30 単位 (自由選択科目一括)
海外留学助成金	23 万円 (前期 13 万円+後期 10 万円) 助成
検定試験合格者助成金	—
備考	—

### 留学成果レポート

#### ■なぜ、派遣先国・派遣先大学への留学を希望しましたか？

韓国の文化と生活などに関心があり、韓国の大学生活を1年間経験したかったからです。考古学に関心があるため、考古学が学べる韓国伝統文化大学校を希望しました。

#### ■派遣先大学で、どのようなことを学習・研究しましたか？

韓国の先史考古学、新羅・伽耶・渤海考古学、実習・発掘、茶と文化、遺構保存実習など韓国考古学を中心に、韓国の伝統文化についての授業、保存学科の授業も受講し学びました。また実習では実際に発掘調査の一通りの流れを行いながら学びました。

#### ■留学するにあたっての目標は何でしたか？ 目標は達成できましたか？

韓国語がペラペラに話せるようになり、韓国考古学についての知識が身につけ、その中で好きなことを見つけ、親や周りに頼りすぎず、自分の考えをしっかりと持てる自立した自分になることです。そして、韓国の大学で友達たちと毎日楽しく会話や遊び、勉強をし、充実した生活を送ることです。韓国語は友達との日常会話、授業の聞き取り(60～70%)、日常の読み書きはできるようになりましたが、完璧に会話ができるまでには至りませんでした。また勉強もすべての知識を身につけることはできませんでした。しかし、友達と充実した楽しい大学生活を送ることができました。

#### ■派遣先国・大学で、どのような国際交流を行い、どのような活動をしましたか？

私は色々な人と話すことが好きなので、たくさんの人達と会話をしました。奈良大学についてや日本の文化、韓国の文化についてなど、色々な話を毎日たくさんの友達や先輩、先生方たちとしました。また私がお好み焼き、みそ汁、うどんなどの日本食を作り、友達たちは韓国料理を作って食べあいをしました。とても新鮮な体験であり、不思議なことだったり、驚き、共通点や違う点などをみつけることができ、とても楽しかったです。

### ■留学中、どんな困難や苦労がありましたか？またその困難をどう乗り越えましたか？

一番は語学が自分のイメージしたとおりに伸びず、苦しかったです。2 学期に入り、修了まで残り 4 ヶ月しかない中、考古学と韓国語の勉強の両立が苦しくなり、焦りと不安で精神的にきつくなりました。家族や先生に相談したり、励ましてもらいながら最後は自分で「やるしかない、為せば成る」と自分に言い聞かせながら、自分なりに頑張ろうと前へ進みました。

### ■留学前と比べて「学習面」で成長できたと思う点はなんですか？

韓国の考古学を学ぶことができる授業・実習を通し、知識を身につけることができました。留学前はほぼ無知識でしたが、新羅、伽耶、渤海などの土器の特徴や遺跡、韓国考古学のはじまりと現在など、受けた授業のすべてとはいきませんでした。自分にとってはとてもたくさんの知識が身につきました。また PowerPoint で始めてスライドを作って発表しました。私は日本でも作ったことがなく、発表もしたことがなかったのですが、韓国の学生達と同じ主題のスライドを作り、韓国語で発表したことは私にとってとても大きな経験であり、成長したと思います。

### ■留学前と比べて「人物面」で成長できたと思う点はなんですか？

留学目標の一つの、「自分の考えをしっかりとって自立した自分になること」はまだ完全にはなれていません。それでも留学前と比べると、自分で考え、発表したりしながら、自分の意見を言えるようになりました。また、やる前から諦めずに、とりあえずやってみようという行動力が身につきました。そして、自分中心に何事も考えること、すべてが上手くいくと考えること、安全であると油断することをしないように意識し、行動するようになりました。韓国に来てからとくに安全には本当に注意するようになりましたし、上記のような考えをしないよう意識するようになり、より友達を大切にしたりと、何事も成長したと思います。

### ■今後、この留学経験をどう生かしていこうと考えていますか？

自分の選択肢を広げることに生かしたいと思います。まず勉強した韓国の考古学について関心を持ったので、これから自分が勉強、研究していきたいことを考えるときに日本のことだけでなく、韓国のことも選択肢に入れたいと思います。また精神的に苦しいときに乗り越えられたこと、自分の考えや意識面で成長できたこと、鍛えられたことを自信にし、苦しいときにも諦めずに行動していくことに生かせると思います。トラブルがあっても、自分で考え、一人で解決しなければならぬ場合が多々ありました。留学を通して身につけたこれらの経験や行動力等を、これからの人生で生かしていこうと考えています。

### ■留学は楽しかったですか？留学して良かったですか？留学を終えての感想を

本当に楽しかったです。人生で一番短く、早く、濃い 1 年でした。自分がイメージしていた思い通りの留学生活にはできなかったけど、それも自分には意味があった留学だったと思います。もっとあの時こうしておけばよかった、勉強をもっと多くしておけばよかった、韓国語もまだまだ勉強を頑張れたはずだ、と考えれば考えるほど後悔がたくさん出てきます。しかし、留学には後悔はつきもので、自分はまだまだ弱いんだと思います。しかし、後悔はたくさんあるけれど、2 回生のこの時に行ってよかったと思います。楽しいこと、面白いこと、驚いたこと、苦しかったこと、色々な経験をすることができました。これからの人生で、絶対に自信となり、励みになると思うので、さらにもっともっと頑張って、楽しんでこれからの人生生きていきたいです！こんな経験をさせてくれた母、そして奈良大学・韓国伝統文化大学校の関係者のみなさまに、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

■韓国及び派遣先大学の印象は？

奈良大学よりも敷地が広く、大学内には池や伝統的建物、伝統的庭園など、校名の通り大学の雰囲気は伝統的でした。学生数が奈良大学より少ないですが、奈良大学よりも活発で賑やかな学生の雰囲気が印象的でした。授業中、学生がみんな積極的であったし、協力的でみんなで頑張るといった雰囲気がありました。

■留学して一番困った・大変だったことは？

当たり前ですが、言語が違うため、最初は何を言っているのかさっぱりわからず、授業も全く理解できず、1学期の3・4月は大変でした。  
日本と違い水質が硬水のため、よく体にあわず、お腹を壊していました。

■留学中の楽しかった・嬉しかったできごとは？

日本と違う国の、日本語がまったく話せない韓国人の友達ができ、会話することができた時。みんなが仲良くしてくれ、どんどん友達も増え、毎日が楽しかったこと。はじめて現地の地域の人(おばあさん)とお話し、可愛がってくれたこと。現地の友達との会話のほとんどを理解することができるようになったこと。学科の人達と旅行したこと。

■留学先に持ってきて良かった・持ってくれば良かったと思ったものは？

・持ってきて良かったものは、現地で勉強するための日本語で書かれている教材。日本食、化粧水など。  
・持ってくれば良かったものは、パソコンのキーボードに貼る韓国語のシール  
(理由)レポートや PowerPoint を使ったスライドなどの課題をするときに、ハンゲル入力が必要となるため、シールがあるとスムーズに入力することができたと思ったから。

■留学中のお金の管理はどうしていましたか？

一括現金を持っていきました。あとはクレジットカードを使っていました。

■派遣先大学での生活環境はどうでしたか？

ルームメイト(現地の韓国人)と二人相部屋。バス・トイレ付、エアコン、オンドル付きで、とても快適に生活することができました。食事は学生食堂で食べていました(朝・昼・夜 各 350 円)。光熱費は 0 円で、食費と布団代(最初に購入)と日常生活品代くらいで、お金はほぼ生活費だけでした。

■派遣先大学での課外活動はどんなものがありましたか？

2 学期の終わりにようやく色々なサークルがあることを知り、早くに知っていたらとても残念に思いました。テコンドーやウンリム(伝統音楽)やバンド、コーヒー、茶、ロードスター(天文部)など日本と同じようなサークルがたくさんありました。

■どのような国籍の留学生がいましたか？

日本人は 2 人です。2 学期から 1 人、東京の大学から芸術専攻の人が来ました。  
その他は、ロシア、中国、ベトナムから 2~3 人ずつ来ていました。

### ■渡航前にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

言語を勉強しておくべきでした。もっと単語・文法を勉強していれば、今とは違ってもっと話せてペラペラに近くなっていたかもしれません。

### ■渡航後にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

言葉を忘れないように、終わっても引き続き勉強し続けたいです。せっかく覚えても使わないと忘れてしまうので、韓国語能力試験の勉強をし、試験を受けつつ、勉強をしたいと思っています。

### ■今後の派遣留学生にむけてアドバイスを

やっぱり日本にいる間に少しでも言語を勉強し覚えているかで、だいぶ留学生活が変わると思います。しかし、私のようにせずに行っても正直しんどいですが、なんとかなります！現地に行ってしまうと、毎日その現地の友達、先生と会話をするため、自然と身につきます。しかしそれには限界があるので、そのあとは自分で努力しなければいけません。もう一度留学できるのであれば、もっと次は言葉を上達させてから行きたいと思います。生活は韓国伝統文化大学校では心配することはないです。とても住みやすい環境なので、きっとすぐに慣れて、楽しく過ごせると思います。学習面では、授業後にすぐ授業内容(プリントや PPT)を翻訳していると、のちの中間、期末テストが楽です！是非その日の内に、その週の内にすることをオススメします。留学は本当に日本の大学生活ではできない経験ばかりです！是非、楽しんで、勉強もしつつ、思いっきり楽しんでください！楽しんだら留学は 99%成功です！と学生支援センター(学生担当)の先生に言われた通り、本当に成功ですよ！

## 留学体験記

留学しようと思ったきっかけは、奈良大学が行っていた異文化体験研修に参加したことです。一週間韓国の韓瑞(ハンソ)大学校の人達と交流し、毎日本当に楽しかったので、私も日本を出て韓国の大学生活を送ってみたいと思いました。またこの研修で韓国の考古学に興味を持ったので、韓国考古学を学び、知識を深めるとともに、自分を成長させたいと思い、留学を決意しました。

留学生活は、韓国の学生と同じ授業を受け、同じ課題をし、同じテストを受け、一緒にご飯を食べ、勉強し、遊び、韓国の学生と同じ困難や楽しさを体験しながら過ごした毎日の日常はかけがえのない体験でした。とくに MT といって学科全員で海などに遊びに行ったことや、学科・各授業の踏査で、韓国の代表的な文化財や遺跡・遺物を実際に見に行き勉強できたことは、留学していなければできない貴重な経験になりました。

留学を終えて成長したと思うところは積極的になれたことです。留学当初に比べ友達や先生方とたくさん会話ができるようになりました。友達もたくさんでき、勉強したり、遊んだり、旅行をしたり、本当に楽しい韓国の大学生活を送ることが出来ました。もちろんつらいことも嫌なことも悲しいこともたくさんあり、後悔したり、思い通りにいかなかったり、自分のイメージしていた完璧な留学生活ではなかったのですが、間違いなく人生で一番濃い一年になりました。

交換留学制度を利用することができたため、韓国の大学で取得した単位を奈良大学の単位として認定することが出来たので、留年の心配をする必要がなく本当によかったです。お金の面でも助成金制度があり、私費留学とくらべて負担も減らせたのでとても助かりました。

これからの大学生活は韓国留学で自分が達成できなかった目標、しなければならなかったこと、後悔したことなどを、留学で得た経験・体験、そして韓国伝統文化大学校の授業で勉強したことや語学を生かし、達成していけるよう、これからの人生に生かしていきたいです。

